令和元(2019)年度　江戸川区立第五葛西小学校　学校関係者評価　最終評価用報告書

学校教育目標	(1)深く考える子(思考力・判断力・表現力豊かで未知の状況にも対応できる子) (2)仲よく助け合う子(実際の社会や生活で、人とのかかわりを大切にする子) (3)すすんでやりぬく子(学んだことを人生や社会に生かそうとする子) (4)体をじょうぶにする子(心身ともに健康でたくましい子)	目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像	○子供たちが明るく元気に学校生活を送れるように自己肯定感を育み、認める・ほめることを基本とする教育を推進する学校 ○「あいさつ・へんじ・人とのかかわり」を大切にして行動できる児童 ○指導力向上を図り、児童の学習意欲を向上させ、学ぶ習慣を身に付け、基礎・基本の定着を図ることのできる教師
前年度までの学校経営上の成果と課題	＜成果＞ ○算数科の授業を通した校内研究を進めたことで、児童が相互にかかわりあいながら学びを深めていく授業づくりについて教員の実践力が向上した。 ＜課題＞ ○オリンピック・パラリンピックを見据えた、外国語、外国語活動を中心としたオリパラ教育を推進していく。		

教育委員会重点課題	取組項目	評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価			学校関係者評価		来年度に向けた改善策
					取組	成果	成果と課題	評価	コメント	
特色ある教育の展開	小中連携教育の推進	「小中連携教育構想」及び「各教科等の連携教育プログラム」による連携の充実	・葛西二中とのふれあいコンサート ・小中連携の日(6/26)教員交流	小中連携の日…年3回	B	B	○コンサートで交流を図ることができた。 ●(小学校の)授業参観の機会がなかった。(予定していたが中止となった。)	A	・「ふれあいコンサート」は、6年生が中学校に対して期待をもてるような取り組みでよい。	・小中で授業を参観し合えるよう計画する。
教員の資質向上	教員研修の充実	ICTアシスタントによる校内研修の実施によるICTを活用した教員の授業力の向上	・外部講師・校内講師によるICT研修 機器の使用方法について	ICT研修…年3回	B	B	○ICT機器を活用した授業が増えた。 ●プログラミング教育の研修を行う。	A	・時代の流れに沿った研修でよい。	・プログラミング教育の校内研修を行う。
	特別支援教育の推進	校内委員会の活性化を図ることなどによる指導・支援の充実	・特別支援研修会の開催 ・特別支援夕会での情報交換(月1回) ・エンカレッジルームの活用	特別支援研修会…年3回 特別支援夕会…年10回	B	B	○研修を生かした指導に取り組んでいる。 ○支援が必要な児童に対して学校全体で対応している。	A	・支援が必要な児童に対しての取り組みは人手も必要かと思うがずっと続けてほしい。	・今後も継続して対応していく。
いきいきと学ぶ教育の充実	確かな学力の向上	「確かな学力向上推進プラン」の実施・改善や補習の実施などによる指導の充実と授業力の向上	・算数科における習熟度別少人数指導 ・放課後の補習(年35回) ・校内講師による研修(夏休み)	学年末テストにおける到達度80%以上の児童の割合+0.5%	A	B	○習熟度別少人数指導や補習により、個に応じた指導ができている。 ●研修したことを2学期の授業に生かす。	B	・補習を受けていることで学力が向上していることがわかる。	・週時程を工夫して補習の時間を確保する。
	読書科の更なる充実	学校図書館の整備・活用の推進や探究的な学習の充実	・読書月間 ・保護者ボランティアによる読み語り、 図書館整備	読書月間…年3回 保護者ボランティアによる読み語り…年12回	A	B	○読書への関心が高まり、探求的な学習で問題を解決することができた。 ●図書館司書と連携し、蔵書の充実を図る。	A	・よく本を読んでいるという印象がある。	・読書科の指導計画を見直し、調べ学習の充実を図る。
	体力の向上	体育の授業や休み時間における主体的な運動の実施による運動意欲の向上	・運動遊び「パワフルチューズデー」	「ﾊﾟﾜﾌﾙﾁｭｰｽﾞﾃﾞｰ」…年20回	A	A	○「パワフルチューズデー」に楽しく取り組んでいる。 ●遊びの種類を増やす。	B	・「パワフルチューズデー」を楽しみにしている児童がいるので感謝している。	・遊びの種類を増やす。
	オリパラ教育の推進	「オリンピック・パラリンピックレガシー創造プラン」に基づく取組やオリパラコーナーの充実	・「オリパラルーム」設置 ・障がい者理解学習(ガイドヘルプ体験等)		B	B	○オリンピック・パラリンピックへの関心を高めることができた。 ●パラリンピアンによる授業(計画中)	A	・オリパラ教育を通して、障がい者への理解が深まるとよい。	・パラリンピアン等による授業を行う。
	外国語教育の推進	授業力の向上とALTの効果的な活用	・外国語に関する校内研究 ・研究授業(年6回) ・校内講師による研修	研究授業…年6回 校内研修…年3回	A	B	○授業の進め方について研修を深めている。 ●ALTとの打合せの時間を確保し、協力して授業を進める。	B	・児童が日常的に英語に触れ合う機会が増えていってほしい。	・ALTとの打合せの時間を確保し、協力して授業を進める。